

学びを自覚し、学びを生かそうとする子供の育成

～児童が一人学びの必要性を感じ、主体的に取り組むための授業作りやICTを活用した指導の工夫～

萩市立椿西小学校

1 はじめに

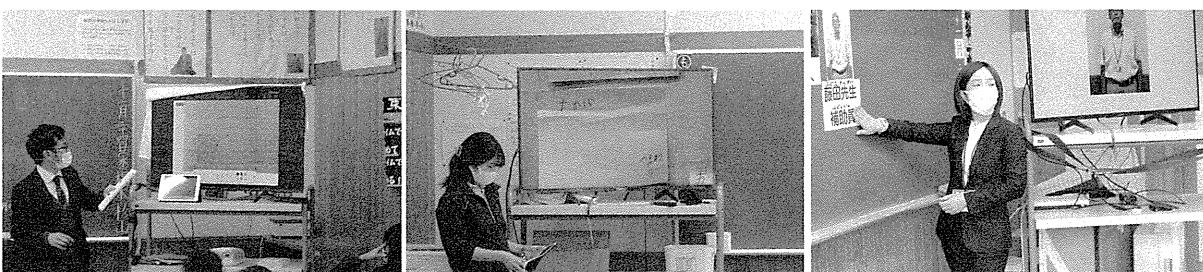
本校は、令和3年度山口県教育庁義務教育課指定 授業力向上実践指定校として、11月26日（金）に研究発表会を開催した。

今年度の研究主題である、「学びを自覚し、学びを生かそうとする子供」を育成するため、日々の授業の中で「子供が気付き、考え、思考を働かせながら学びに向かう」場面をいかにして作るかを考え、実践している。子供たちと課題を出会わせる、考えを共有する、思考を可視化するためのツールとして、GIGAスクール構想で配備されたタブレット型情報端末（iPad）を活用しているが、それだけでは効果的な利用は難しい。どのようなICT機器を組合せ、どのような場面で、どのように使うことで、子供たちの主体的な学び、一人学びにつながるか、日々の授業研究と併せて、研究を進めることにした。



2 研究の内容

- (1) タブレット型情報端末を授業で活用する方法
- (2) 振り返りの視点を明確にして、子供が学びを実感できる授業づくり



3 ICT活用に関する研修

- Apple TV（4K第1世代）を利用した、ミラーリングの方法と無線接続だからこそできる、教師の動き、授業での活用の仕方について実践を交えて研修した。それまでは、有線接続でiPadの画面をモニターに映していたが、無線接続により、授業中の教師の動きが変わり、きめ細やかな支援、時を逃さない指導、考えの共有ができるようになることが具体的にイメージでき、実践に結び付けることができた。
- 子供のノート、具体物の操作をリアルタイムで投影し、考えを共有する方法、その際に効果的なアプリと合わせた指導の実際を体験した。

4 山口県授業力向上研究指定校 授業研究会

(1) 授業公開

- ・ 1年1組 国語科

単元名： じどう車ずかんをつくろう

本時の内容： 3つの自動車の仕事について書かれた文を比べ、表現の仕方や言葉の役割について理解する。

- ・ 6年1組 算数科

単元名： 比例と反比例

本時の内容： 400枚の画用紙を取り出す方法を、比例の関係に注目して考え、表や式で表したり説明したりする。

- ・ つばき1組 生活単元

単元名： お仕事図鑑を作ろう

本時の内容： 様々な仕事、自分との関わりがあることに気付き、仕事に対する興味、調べようとする気持ちを持つ。

(2) 授業について

- ・ 萩市内外から、およそ40名の先生方の参加があり、本校の取組、授業を見ていただいた。コロナ禍のため、参観の制約はあったものの、子供の学習の様子を参観したり、授業研究の成果について協議したりすることができ、大変有意義な研究会となった。
- ・ タブレット型情報端末を効果的に利用する場面、ミラーリングによるテンポをくずさない授業展開の一端を見せることができたと考える。授業の内容、活動場面等によって、ICTを使う方が効果的かどうかを検証し、必要な時、即座に使用できる環境を整えていたので、授業中の子供の発言や学習の様子を見取り、柔軟に活用することができた。

5 おわりに

- ・ タブレット型情報端末が整備されたとはいえ、それを効果的に使い、子供の学力を高めていくには、まだまだ課題が多くある。しかし、授業づくりについての視点は、今までと大きくは変わらない。その時間に、子供にどのような力を身に付けさせたいのか、そのためのどのような場を仕組み、何について考えたり話し合ったりさせるのか。それをより充実させるためのツールの一つとして、ICTを活用することが大切だと考える。ただ、ICTを活用することで、子供の意欲をより高め、子供が気付き、自ら考えようとする学習の場は、今までより効果的に仕組むことができるようになっていることは間違いない。実践を積み重ね、共有し、子供の学びの質を高めるICTの活用、授業づくりに、引き続き取り組んでいきたい。